

子どもたちを思う 未来を思う あたたかい気持ちを「ひと」がつないでいます

例えば 関市立田原小学校では

関市南端の田原地区。田原小学校校区では、平成17年から子ども安全会議が立ち上がり、地域の大人みんなで子どもの成長を見守ろうという基盤があります。小学校の総合的な学習は地域を学び地域で学ぶ内容です。3年生の児童は「田原のまち 大発見!」として、座学での学習をはじめ、迫間(はさま)不動尊・ふどうの森への校外学習などを通して地域の魅力、地域の人のすばらしさを学んでいます。

明王山のとっぺんからは、田原小学校やおうちがいっぱいみえました。名古屋のまちも見えたときは、びっくりしました。



『がんばって。』とボランティアの方が言ってくれたり手を貸してくれたりして元気が出ました。また『こつをつかんだね。』と言ってくださってうれしかったです。

明王山の頂上で食べたおにぎりはいつもより、100倍おいしかったです。

子どもたちを未来へつなぐ

「子どもたちを守りたい一心から活動を始めました。できることから繰り返してステップを踏んでいけばおのずと人はつながります。目の前にごみが落ちていたら、迷わず拾う、そういう繰り返しです。」

田原小学校地域学習サポート力抜群の
神谷泰久さん(田原子ども見守りボランティア)のお話か

人が
が
い
る

「子どもは、真っ白なんです。子どもは、未来。子どもたちの目線で、愛情をもって関われる大人のつながりを、もっと盛り上げたいんです。どうすればそれができるのか、考えています。火中の栗でも拾いますよ!」

明王山登山コーディネートのキーパーソン 白田幸夫さん(ふどうの森トレラン実行委員長)のお話から

例えば公民館や社会教育の場では



←社会教育委員として
全国社会教育委員永年
勤続表彰をうけられた
関市・清水宗夫さん。
市長室での報告の様子
です。(新聞取材の為マスクを
外したタイミングの写真です)

清水さんも鈴木さんも異口同音におっしゃっていたのは、長く続けることができたのは直接の関係者はもちろん、地域の方々など、周りの人のおかげさま、「感謝」ということでした。地域のこれからのために、子どもたちのため・人のために、いつも誠実に活動を続けられています。これからもよろしくお願いします。



↑公民館長として全国公民館永年勤続職員表彰を受けられた郡上市・鈴木美好さん。教育長室での報告の様子です。

→公民館関係では県の表彰も行われ、郡上市で22名の方が表彰されました。



県と岐阜大学が共同で設置した「ぎふ地域学校協働活動センター」の主催事業として、「地域学校協働活動推進員等育成研修」が昨年度に引き続き今年度も行われました。感染症対策の為、オンライン開催なども併用しての研修でしたが、計4回の開催のうち最終4回目は、密を避けコロナ対策の工夫をして岐阜大学柳戸キャンパスでの開催でした。

県と大学が設置したこのセンターの仕組みは全国初。地域と学校が連携・協働することを促進し、子どもたちを支え、地域のつながり・絆を強化して活性化を図る目的で運営されています。事業内容は「人材育成として地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター研修・大学生ボランティアと事業のマッチング」「普及・



研修の様子

啓発として市町村などへ長期支援や出前講座の実施（無料）」などを行っています。

こうしたセンターの研修や、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動などについてお聞きになりたいことがあれば、お気軽に中濃総合庁舎内 岐阜県中濃県事務所振興防災係 社会教育担当までご連絡ください。

